

令和3年度 全国学力・学習状況調査（文部科学省）  
島根県（公立）の結果概要

I 調査の枠組み

1 本体調査

国語 算数・数学 質問紙（児童生徒／学校）

2 補完調査 ※抽出方式で調査結果は文部科学省が公表

ア 経年変化分析調査（全国的な学力の状況について、経年変化を把握・分析し改善に役立てる）

イ 保護者に対する調査（家庭状況と学力等の関係について、経年変化を把握・分析し改善に役立てる）

II 本体調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

（1）国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。

ア 小学校調査

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年

イ 中学校調査

中学校第3学年、義務教育学校後期課程第9学年、特別支援学校中学部第3学年

（2）特別支援学校及び小中学校等の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒

イ 知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

3 調査実施日

令和3年5月27日（木）

4 調査の内容

（1）教科に関する調査

国語、算数・数学はそれぞれ次の①と②を一体的に出題 ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等 ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等
---

（2）質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

5 県内公立学校で調査を実施した学校数・児童生徒数

市町村立小学校 192 校、義務教育学校前期課程 2 校及び県立特別支援学校小学部 3 校

小学校調査	実施予定学校数	実施学校数（実施率）	実施児童数
公立学校合計	197	197（100%）	5,421 人

市町村立中学校 91 校、義務教育学校後期課程 2 校及び県立特別支援学校中学部 2 校

中学校調査	実施予定学校数	実施学校数（実施率）	実施生徒数
公立学校合計	95	95（100%）	5,378 人

### Ⅲ 公表について

#### 1 公表の内容

(1) 島根県及び全国の教科に関する調査の結果

(2) 島根県及び全国の質問紙調査の結果

児童生徒質問紙、及び学校質問紙の回答状況

#### 2 公表結果に関する留意事項

本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であること

#### 3 その他

島根県教育委員会のホームページ「EIOS」に公表資料を掲載

### Ⅳ 教科に関する調査の結果

#### 1 結果の概要（島根県と全国の平均正答率との比較）

- ①小学校国語においては、全国平均並みであった。
- ②小学校算数、中学校国語、数学においては、全国平均を下回った。
- ③小学校国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国平均並みであったが、その他の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は、全国平均を下回った。
- ④小学校算数では、「数と計算」の領域は、全国平均並みであったが、その他の「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の領域は、全国平均を下回った。
- ⑤中学校国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域は、全国平均並みであったが、その他の「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、全国平均を下回った。
- ⑥中学校数学では、「資料の活用」の領域は、全国平均並みであったが、その他の「数と式」「図形」「関数」の領域は、全国平均を下回った。

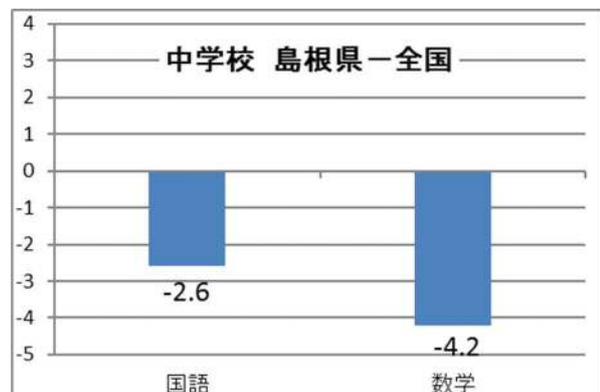
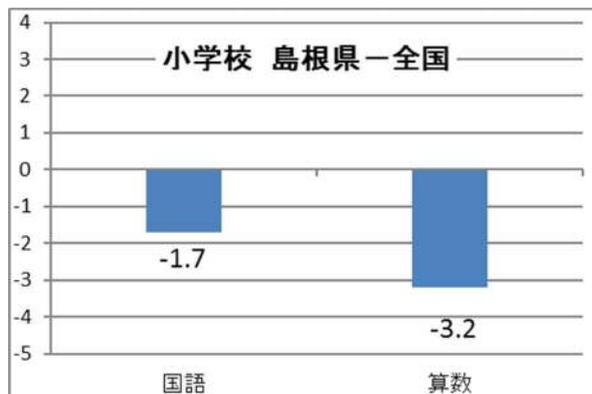
#### 2 各教科の平均正答率

【小学校】

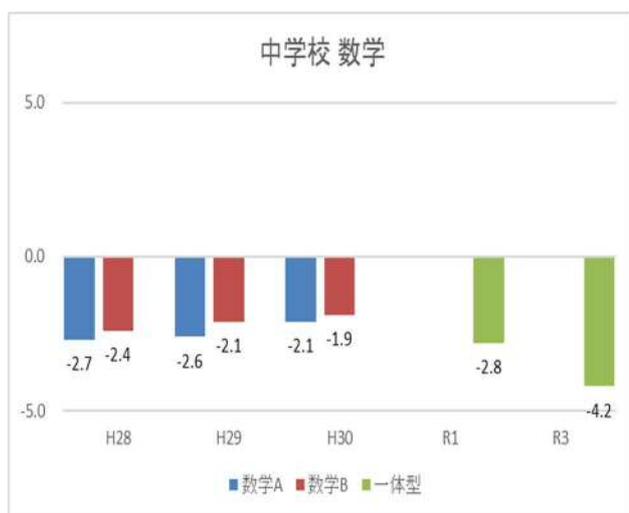
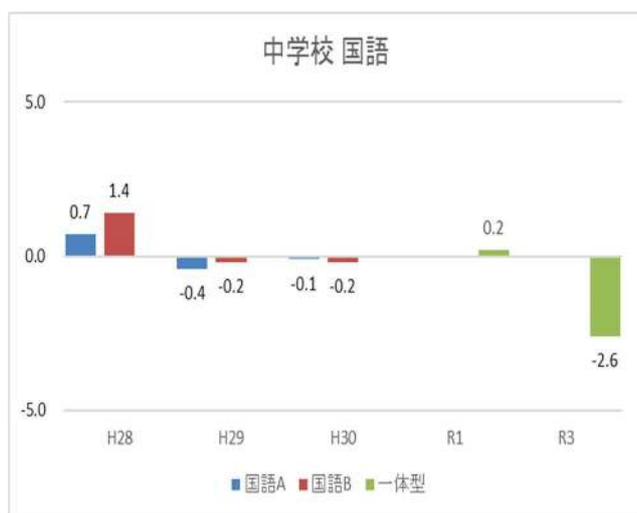
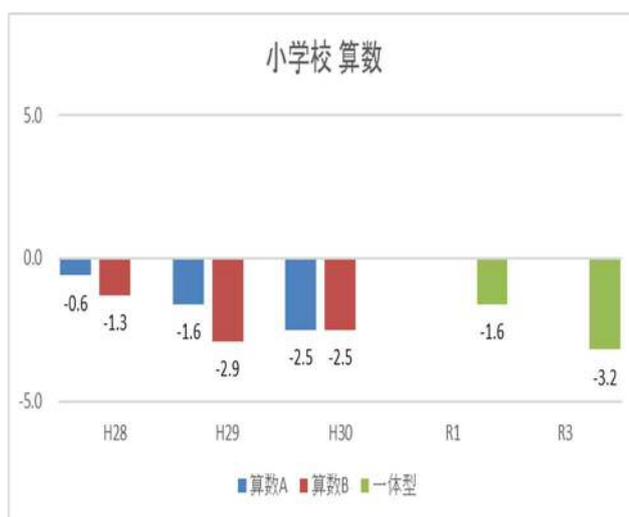
【中学校】

	平均正答率 (%)		
	島根県	全 国	差
国語	63	64.7	-1.7
算数	67	70.2	-3.2

	平均正答率 (%)		
	島根県	全 国	差
国語	62	64.6	-2.6
数学	53	57.2	-4.2



【参考】各教科の正答率の全国との差（経年変化）



※1 令和2年度の調査は中止

※2 平成30年度までは、A問題（主として「知識」に関する問題）とB問題（主として「活用」に関する問題）で実施

### 3 各教科の正答数分布グラフ及び分類・区分別集計結果

○：県が全国を2ポイント以上、上回るもの ー：県と全国の差が2ポイント未満のもの △：県が全国を2ポイント以上、下回るもの

## 【小学校 国語】

・：概要 ○：成果 ●：課題

#### 【令和2年度に実施した県調査の課題】

A 漢字（同音異義語）を文の中で正しく使うことに課題がある。

B 「書くこと」において、目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題がある。また、無解答率が高く、回答した児童についても指定された条件で書くことに課題がある。

C 「読むこと」において、複数の文章を比較して読んだり、図やグラフなどを対応させて読んだりすることに課題がある。

#### 【今年度の状況】

・ 高正答率が全国と比較して少ない。

・ 県平均正答率は63%で、全国より1.7ポイント下回っている。

・ 領域別では、「知識及び技能（言葉の特徴や使い方に関する事項）」は、平均正答率は70.0%で、全国を1.7ポイント上回っている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域については全て全国を下回っている。

①漢字を文の中で正しく使うことはできる。・・・A

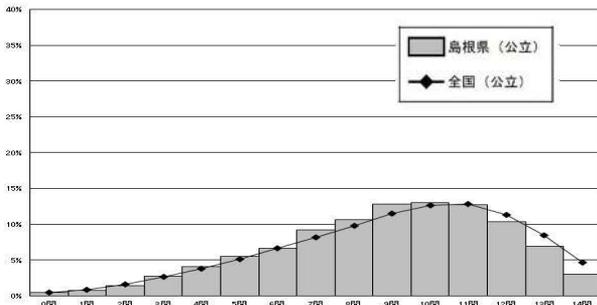
②本県の課題であった「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと」については改善傾向であるといえる。・・・B

①「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える」ことに課題がある。

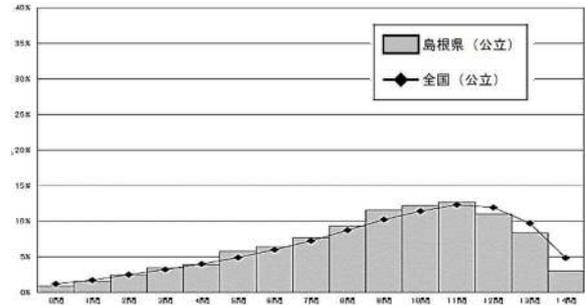
②「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つける」ことに課題が残る。・・・C

③「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」ことに課題がある。

#### 1 正答数分布グラフ (R3)



#### 【参考】[R1]



#### 2 分類・区分別集計結果 (R3)

学習指導要領の領域等	対象設問数	平均正答率 (%)			差	
		島根	全国	差		
話すこと・聞くこと	3	74.0	77.8	-3.8	△	
書くこと	2	55.9	60.7	-4.8	△	
読むこと	3	43.9	47.2	-3.3	△	
知識及び技能（言葉の特徴や使い方に関する事項）	6	70.0	68.3	1.7	ー	

#### 【参考】[R1]

学習指導要領の領域等	対象設問数	平均正答率 (%)			差	
		島根	全国	差		
話すこと・聞くこと	3	71.5	72.3	-0.8	ー	
書くこと	3	55.4	54.5	0.9	ー	
読むこと	3	81.7	81.7	0	ー	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	49.8	53.5	-3.7	△	

#### 3 成果が見られる問題2問

〔問題番号〕 3三(1)エ「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ① 〔島根県値 86.0%〕〔全国値 79.0%〕 〔問題内容〕 丸山さんの【文章の下書き】の中の――部エを漢字を使って書き直す。(げんいん)
〔問題番号〕 3二「書くこと」 ② 〔島根県値 56.0%〕〔全国値 56.6%〕 〔問題内容〕 丸山さんの【文章の下書き】の――部【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す。

#### 課題のある問題2問

〔問題番号〕 3一「書くこと」 ① 〔島根県値 55.9%〕〔全国値 64.8%〕 〔問題内容〕 丸山さんの【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する。
〔問題番号〕 2三「読むこと」 ②③ 〔島根県値 31.2%〕〔全国値 34.4%〕 〔問題内容〕 面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く。

# 【小学校 算数】

・：概要    ○：成果    ●：課題

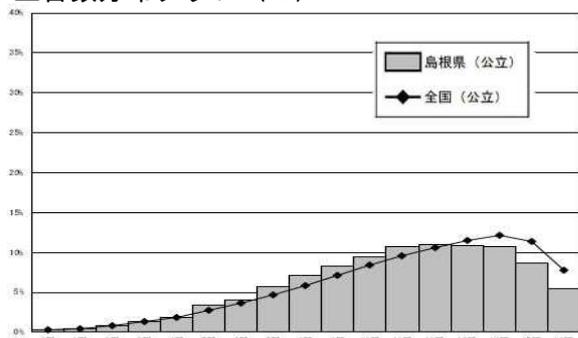
## 【令和2年度に実施した県調査の課題】

A「数の計算」において、小数の除法における被除数と商の大小関係の理解や、分数で表された比の意味の理解に課題がある。  
 B「図形」において、合同な三角形を作図する条件や角柱の体積と底面積や高さとの関係の理解に課題がある。  
 C示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することや、示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方を説明することに課題がある。

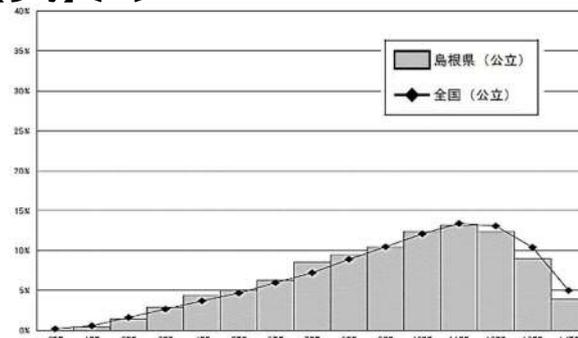
## 【今年度の状況】

- ・高正答率が全国と比較して少ない。
- ・県平均正答率は67%であり、全国を3.2ポイント下回っている。領域別では、「図形」の県平均正答率は52.0%で、全国を5.9ポイント下回っている。
- ①速さと道のりを基に時間を求めることは比較的できている。
- ②棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取ることは比較的できている。
- ①速さを求める除法の式と商の意味を理解することに課題がある。
- ②図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて面積の求め方と答えを式や言葉を用いて記述することに課題がある。・・・B、C

### 1 正答数分布グラフ (R3)



### 【参考】[R1]



### 2 分類・区分別集計結果 (R3)

学習指導要領の領域	対象設問数※	平均正答率 (%)			差	
		島根	全国	差		
数と計算	4	61.4	63.1	-1.7	-	
図形	3	52.0	57.9	-5.9	△	
測定	3	72.7	74.8	-2.1	△	
変化と関係	3	73.6	75.9	-2.3	△	
データの活用	5	73.6	76.0	-2.4	△	

### 【参考】[R1]

学習指導要領の領域	対象設問数	平均正答率 (%)			差	
		島根	全国	差		
数と計算	7	61.7	63.2	-1.5	-	
量と測定	3	50.0	52.9	-2.9	△	
図形	2	77.0	76.7	0.3	-	
数量関係	7	66.8	68.3	-1.5	-	

### 3 成果が見られる問題2問

[問題番号] ① (5)「変化と関係」 ①  
 [島根県値 84.7%] [全国値 85.1%]  
 [問題内容] 分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式と答えを書く。

---

[問題番号] ③ (2)「データの活用」 ②  
 [島根県値 90.6%] [全国値 90.7%]  
 [問題内容] 学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ。

### 課題のある問題2問

[問題番号] ① (3)「変化と関係」 ①  
 [島根県値 50.7%] [全国値 55.8%]  
 [問題内容] ⑦と①の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ。

---

[問題番号] ② (3)「図形」 ②  
 [島根県値 40.4%] [全国値 46.0%]  
 [問題内容] 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く。

※グラフの設問数と分類・区分別集計結果の対象設問数が一致しないのは、1つの設問に複数の学習指導要領の領域が含まれているため。

# 【中学校 国語】

・：概要    ○：成果    ●：課題

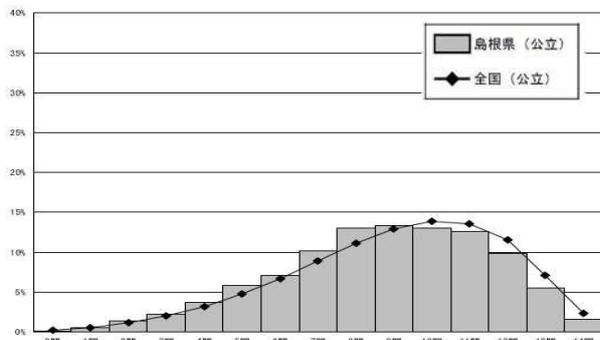
## 【令和2年度に実施した県調査の課題】

- A 「話すこと・聞くこと」において、話合いの話題や方向を捉えることに課題がある。
- B 「書くこと」において、資料の中から情報を取り出し、自分の考えの根拠として関連付けて書くことに課題がある。
- C 「読むこと」において、文章の展開について自分の考えをまとめることに課題がある。

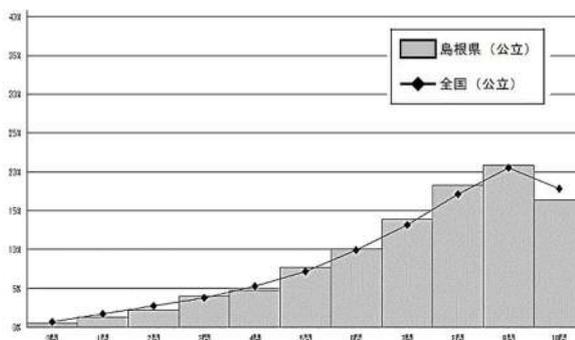
## 【今年度の状況】

- ・ 県平均正答率は62%で、全国を2.6ポイント下回っている。
- ・ 「読むこと」の県平均正答率は44.5%で、全国を4ポイント下回っている。
- ① 話合い活動を通して話合いの話題や方向を捉えることはできる。・・・A
- ② 基礎的な漢字は読むことができる。
- ① 段落相互の関係を理解することに課題がある。また、意見の根拠を明確にするための文末表現の工夫を捉えることに課題がある。
- ② 文章に表れているものの見方や考え方を捉えることや、引用した表現から登場人物の心情や行動について考えること、また、自分の考えを具体的に書くことに課題がある。・・・C

### 1 正答数分布グラフ (R3)



### 【参考】 [R1]



### 2 分類・区別集計結果 (R3)

学習指導要領の領域等	対象設問数	平均正答率 (%)			
		島根	全国	差	
話すこと・聞くこと	3	79.6	79.8	-0.2	—
書くこと	3	55.7	57.1	-1.4	—
読むこと	4	44.5	48.5	-4.0	△
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	72.3	75.1	-2.8	△

### 【参考】 [R1]

学習指導要領の領域等	対象設問数	平均正答率 (%)			
		島根	全国	差	
話すこと・聞くこと	3	71.5	70.2	1.3	—
書くこと	2	83.0	82.6	0.4	—
読むこと	3	72.4	72.2	0.2	—
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	66.9	67.7	-0.8	—

### 3 成果が見られる問題2問

〔問題番号〕 ① 「話すこと・聞くこと」 ①  
 [島根県値 90.2%] [全国値 89.7%]  
 〔問題内容〕 話合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する。

---

〔問題番号〕 ④ ① 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」 ②  
 [島根県値 97.5%] [全国値 97.5%]  
 〔問題内容〕 漢字を読む。(伸ばして)

### 課題のある問題2問

〔問題番号〕 ② 「書くこと」 ①  
 [島根県値 22.2%] [全国値 24.8%]  
 〔問題内容〕 意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する。

---

〔問題番号〕 ③ ④ 「読むこと」 ②  
 [島根県値 13.2%] [全国値 20.5%]  
 〔問題内容〕 「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く。

# 【中学校 数学】

・：概要    ○：成果    ●：課題

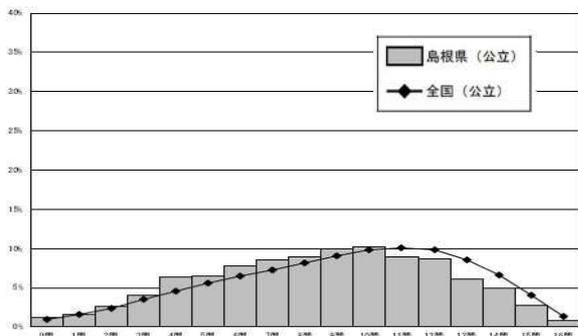
**【令和2年度に実施した県調査の課題】**  
 A「数と式」において、文字を用いた式で数量の関係を捉え、説明することに無解答率が高く課題がある。  
 B「関数」において、数量の関係を表すグラフの読み取りについて課題がある。特に式とグラフを関連付けて考察することに課題がある。

**【今年度の状況】**  
 ・高正答率者が全国と比較して少ない。  
 ・県平均正答率は53%であり、全国を4.2ポイント下回っている。

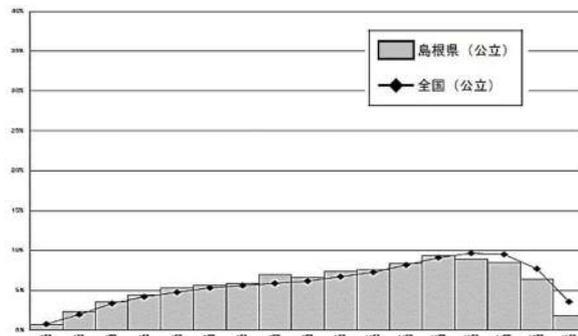
①「中央値」についての意味理解およびそれを求めることは、概ね身につけている。  
 ②与えられた表やグラフから、必要な情報を読み取ることができている。

①「数と式」において、事象の特徴を数学的に説明することに課題がある。・・・A  
 ②「図形」において、根拠を基に説明することに課題がある。

## 1 正答数分布グラフ (R3)



## 【参考】[R1]



## 2 分類・区分別集計結果 (R3)

学習指導要領 の領域	対象 設問数	平均正答率 (%)			差	
		島根	全国	差		
数と式	5	60.1	64.9	-4.8	△	
図形	4	45.0	51.4	-6.4	△	
関数	3	53.5	56.4	-2.9	△	
資料の活用	4	52.6	53.8	-1.2	-	

## 【参考】[R1]

学習指導要領 の領域	対象 設問数	平均正答率 (%)			差	
		島根	全国	差		
数と式	5	61.3	63.8	-2.5	△	
図形	4	71.2	72.4	-1.2	-	
関数	3	37.2	40.8	-3.6	△	
資料の活用	4	53.9	56.3	-2.4	△	

## 3 成果が見られる問題2問

[問題番号] **5** 「資料の活用」 ☞①  
 [島根県値 86.3%] [全国値 84.5%]  
 [問題内容] 反復横とびの記録の中央値を求める。

---

[問題番号] **7** (1) 「関数」 ☞②  
 [島根県値 93.5%] [全国値 93.5%]  
 [問題内容] 与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める。

## 課題のある問題2問

[問題番号] **6** (3) 「数と式」 ☞①  
 [島根県値 26.0%] [全国値 30.3%]  
 [問題内容] 四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であることを説明する。

---

[問題番号] **9** (3) 「図形」 ☞②  
 [島根県値 22.4%] [全国値 28.8%]  
 [問題内容]  $\angle ARG$  や  $\angle ASG$  の大きさについていつでもいえることを書く。

## V 児童生徒質問紙・学校質問紙調査の結果

### 1 令和2年度に実施した県調査から見た課題の改善状況を把握する質問項目

#### (1) 授業の質の充実

##### 【令和2年度の課題】

- 各教科等において話し合う活動を充実させるとともに、各教科等の学習が地域や社会の役に立つことを理解できるよう、探究的な学習を推進していく必要がある。
- 授業で学んだことを、ほかの学習に生かそうとする意識が高まるように、授業と家庭学習、学びを生かすことのできる地域に関わる学習の好循環を生み出す取組を進める必要がある。
- 算数において、発展的な学習の指導に取り組んでいる学校の割合が全国より下回っている。

- ①学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか〔小37〕〔中37〕
- ②授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか〔小33〕〔中33〕
- ③調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか〔学小37〕〔学中37〕
- ④調査対象学年の児童生徒に対する算数・数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか〔学小56〕〔学中56〕

#### (2) 家庭学習の充実

##### 【令和2年度の課題】

- 学校の授業時間以外に平日1時間以上勉強する中学校3年生の割合について、全国との差が大きく課題がある。
- 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図ったり、家庭学習の方法等を具体例を挙げながら教えたりする必要がある。

- ⑤学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日どれくらいの時間勉強しますか。  
〔小18〕〔中18〕
- ⑥調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。〔学小85〕〔学中85〕
- ⑦調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか〔学小86〕〔学中86〕
- ⑧家で自分で計画を立てて勉強していますか（学校の授業の予習や復習を含む）〔小17〕〔中17〕

#### (3) 地域に関わる学習の充実

##### 【令和2年度の課題】

- 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を意識的に設けている学校の割合が全国より下回っている。
- 居住する地域の行事に参加している児童生徒の割合が高いが、その割合に比べて地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている児童生徒の割合が全国より下回っている。

- ⑨総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか〔小39〕〔中39〕
- ⑩調査対象学年の児童生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか〔学小41〕〔学中41〕

- ⑪今住んでいる地域の行事に参加していますか〔小24〕〔中24〕
- ⑫地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか〔小25〕〔中25〕

(4) その他

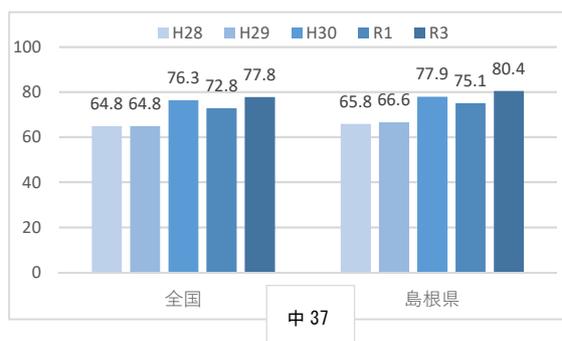
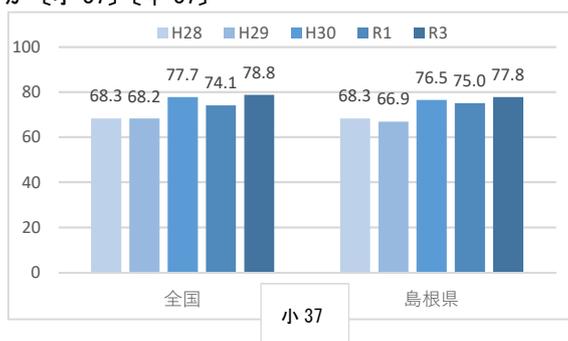
- ⑬携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか〔小4〕〔中4〕 **\*新規調査**
- ⑭普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか〔小5〕〔中5〕

2 課題の改善状況 ※数値は質問紙において「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と肯定的な回答をした割合

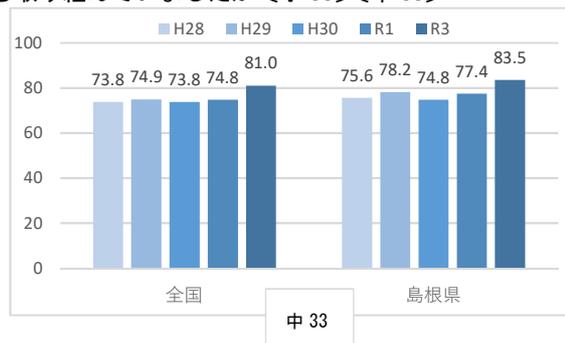
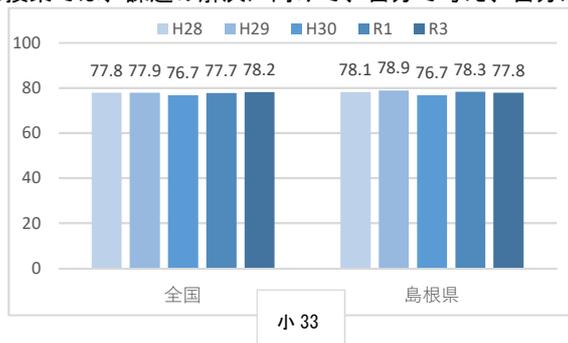
(1) 授業の質の充実

- 話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたり、課題解決に向け、自分で考え取り組んだりすることができていると回答している児童生徒が増えているが、教科の結果につながっていない。話し合う内容の質の高まり、話し合い後に個の考えをまとめる時間を確保するなどの取組を進める必要がある。
- 単位時間後の成長した姿や学習内容が活かされる場面を想起できる授業を進めることが重要である。
- 教科の学習が他教科や日常の課題解決に生かせるよう、各学校において発展的な学習の指導の重要性が意識されてきている。引き続き理解度に応じた課題に取り組む時間などを設定し、取組を進めていく必要がある。

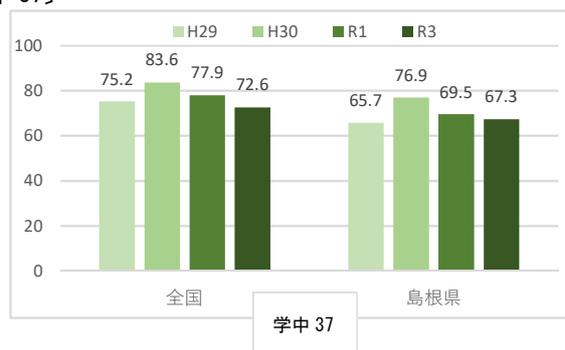
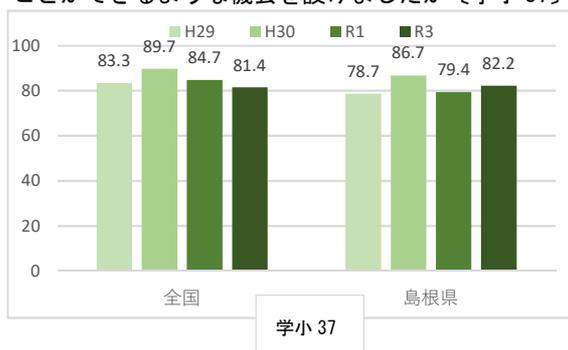
- ①学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか〔小37〕〔中37〕



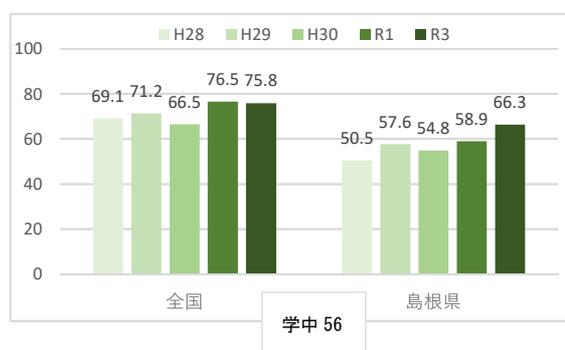
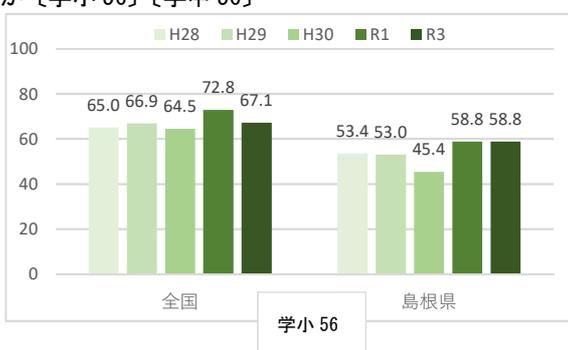
- ②授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか〔小33〕〔中33〕



③調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか〔学小37〕〔学中37〕

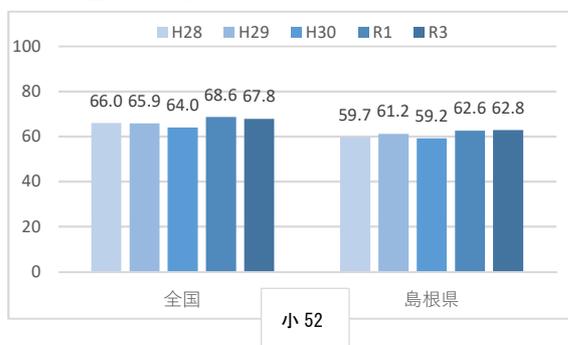


④調査対象学年の児童生徒に対する算数・数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか〔学小56〕〔学中56〕

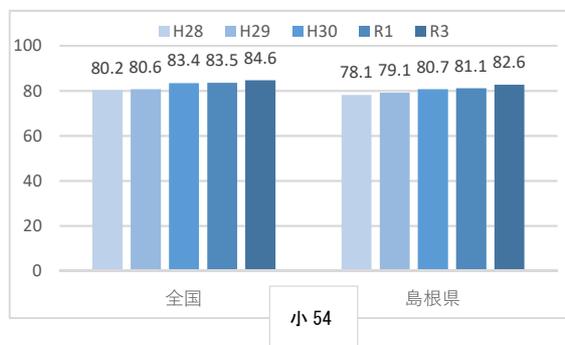


[参考]

算数の勉強は好きだ〔小52〕



算数の授業の内容はよく分かる〔小54〕



## (2) 家庭学習の充実

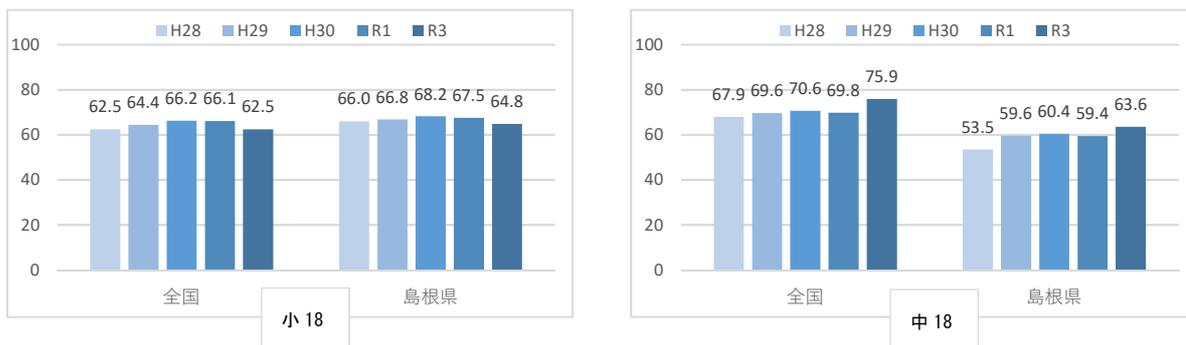
○学校の授業時間以外の平日（月曜日～金曜日）1日あたりの学習時間を全国と比較すると、小学校は1時間以上勉強する児童の割合は全国平均並みであるが徐々に下がってきている。中学校は依然として差が大きいことから、家庭学習を意識した授業を展開することにより、家庭学習の充実を図る必要がある。

○家庭学習の課題の課し方について教職員間で共通理解を図り、児童生徒に家庭での学習方法を具体的にアドバイスするなど、学校として一体感をもった取組が進められている。児童生徒一人一人に応じた発展的な課題や補充的な課題の提示など進める必要がある。

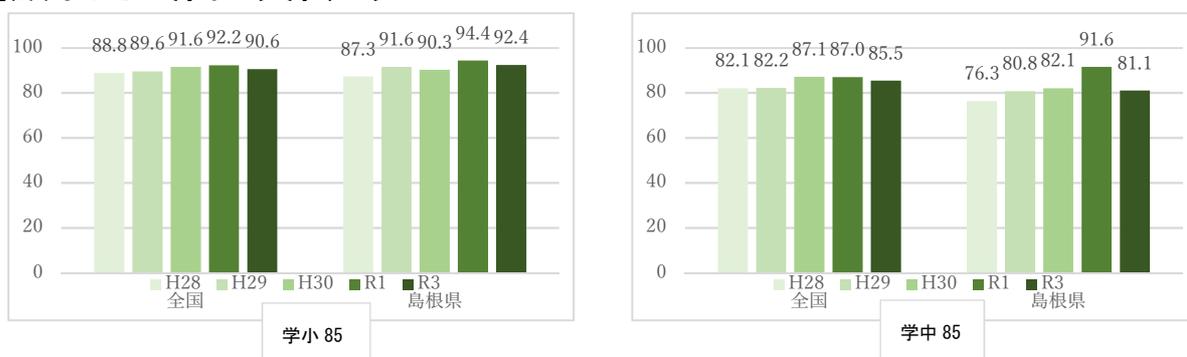
○家庭で、自分で計画を立てて勉強することができるように、見通しをもって学習に取り組むための計画表等を用意するなど、児童生徒の自ら学習を調整する力を伸ばす取組を進める必要がある。

⑤学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日どれくらいの時間勉強しますか〔小18〕〔中18〕

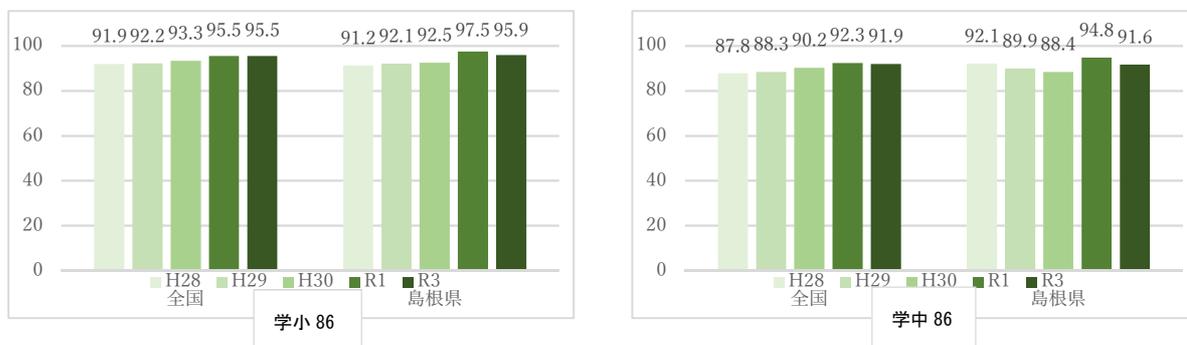
（3時間以上、2時間以上3時間より少ない、1時間以上2時間より少ないと回答した割合の合計）



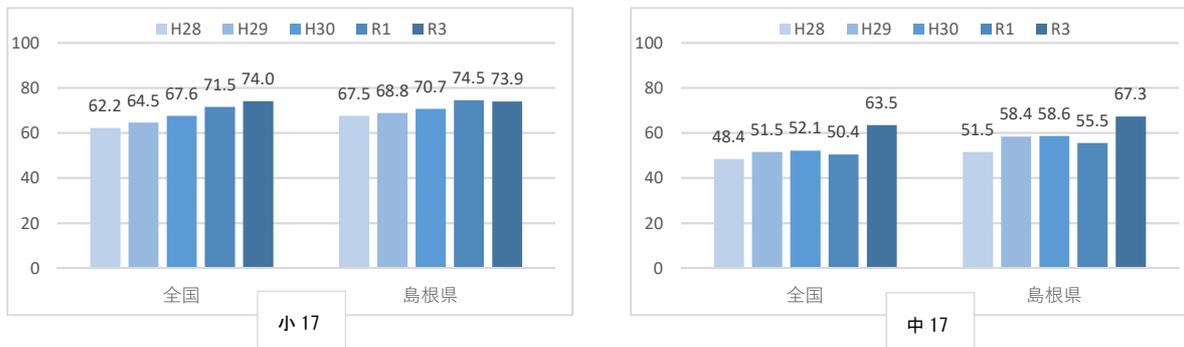
⑥調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか〔学小85〕〔学中85〕



⑦調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか〔学小86〕〔学中86〕



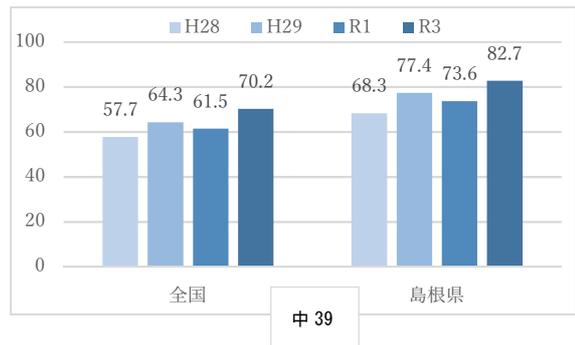
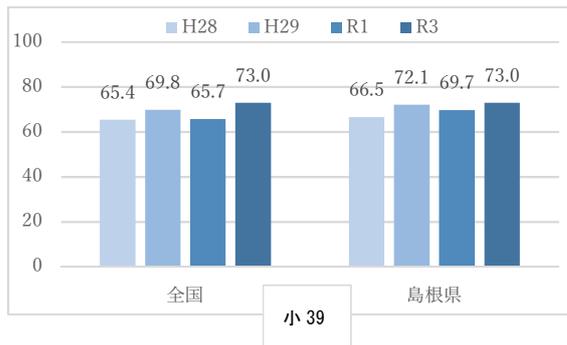
⑧家で自分で計画を立てて勉強していますか（学校の授業の予習や復習を含む）〔小17〕〔中17〕



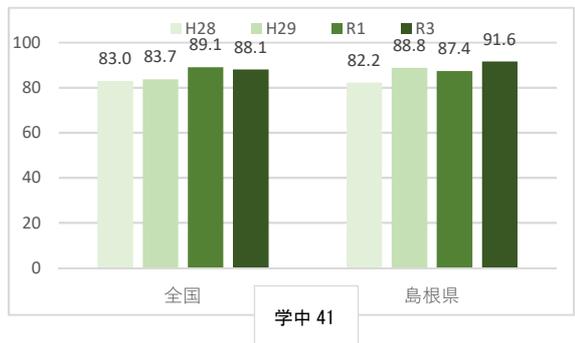
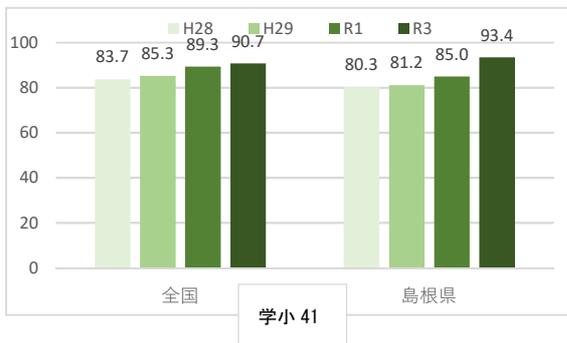
(3) 地域に関わる学習の充実

- 総合的な学習の時間において探究の過程（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）を意識した授業が展開されている。各学校で児童生徒に付けたい力を具体化し、学年に応じた取組をより一層進めていく必要がある。
- 地域の行事に参加する児童生徒の割合は高い。地域での経験や素材を各教科の学習においても取り上げることで理解を進めたり、学びを地域や社会での生活に生かす意識を高めたりする必要がある。

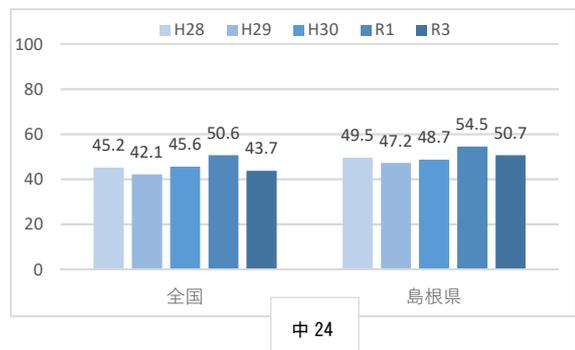
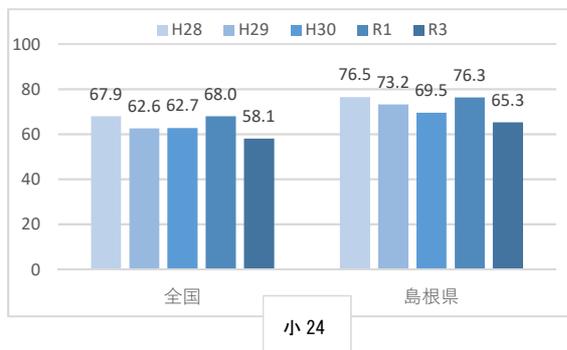
⑨総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか〔小39〕〔中39〕



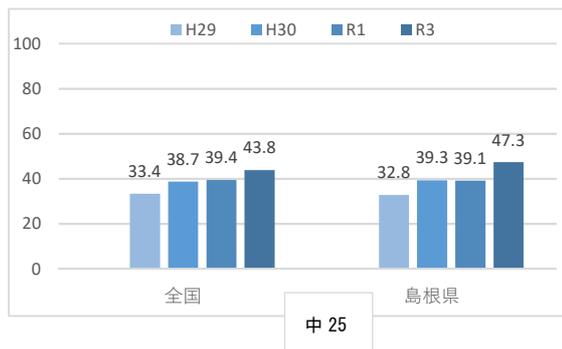
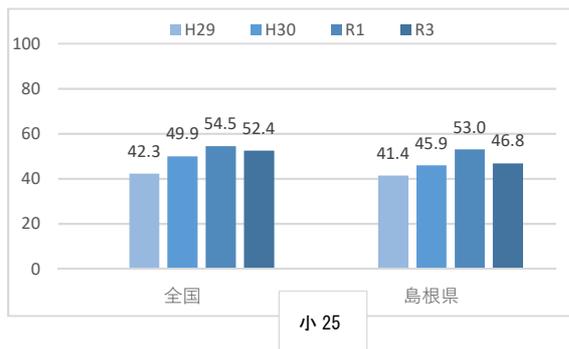
⑩調査対象学年の児童生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか〔学小41〕〔学中41〕



⑪今住んでいる地域の行事に参加していますか〔小24〕〔中24〕



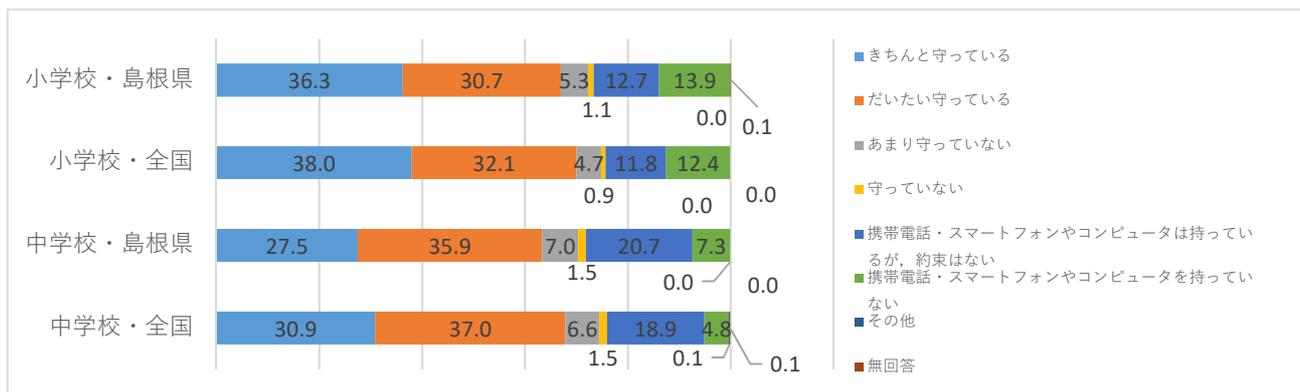
⑫地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか〔小 25〕〔中 25〕



(4) その他

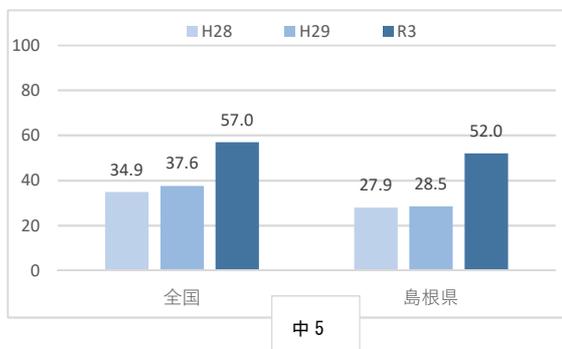
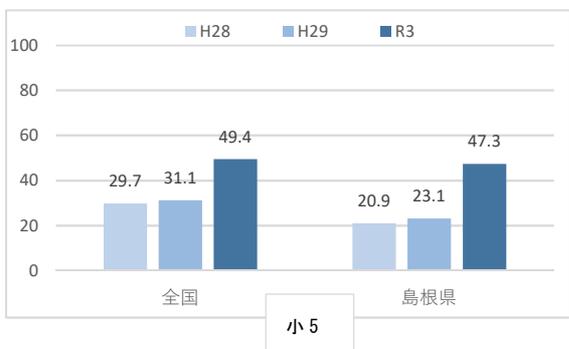
○授業日（月曜日～金曜日）の家庭でのテレビゲームの利用時間が伸びてきている。スマートフォン等のICTの活用法や利用時間を含め、家庭と更に連携を深めていく必要がある。

⑬携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか〔小 4〕〔中 4〕



⑭普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか〔小 5〕〔中 5〕

（4時間以上、3時間以上4時間より少ない、2時間以上3時間より少ないと回答した割合の合計）



## VI 今後の対応

- 1 県教育委員会と市町村教育委員会が連携・協力し、全国学力・学習状況調査及び県学力調査結果分析に基づいた指導の改善を推進する。

小中高の系統性・連続性を図りながら、基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせ、人生や社会で生かすことのできる確かな学力と学び続ける意欲を育む教育を推進する。

### ○授業の質の充実

- ・ I C Tやふるさとの地域素材を有効に活用し、主体的・対話的で深い学びの視点をもった授業づくり
- ・ 学力・学習状況調査等の各種調査の分析を参考にした、組織的かつ計画的な授業の質の充実

#### 【各学校における取組の重点】

話し合い活動の意味を再確認し、質の充実を図るとともに、児童生徒一人一人が思考を高める時間を確保する。

### ○家庭学習の充実

- ・ 子どもたちの自主的な学びを支援する授業の在り方の研究や家庭との連携
- ・ I C Tを活用した家庭学習の在り方の研究

#### 【各学校における取組の重点】

家庭学習の内容を見通した授業を展開し、知識・技能の定着にあわせ、学びを広げる課題を示していく。

### ○地域に関わる学習の充実

- ・ 各教科の学習が地域や社会の役に立つことへの理解促進
- ・ 探究の過程を踏まえた系統的で連続性のある総合的な学習の時間の在り方の研究

#### 【各学校における取組の重点】

児童生徒一人一人が自ら課題を見つけ、解決に向かう意識の高まりと様々な解決方法を考える姿勢を育成する。

- 2 課題に基づく今後の授業づくりのポイントについて、説明動画、教科等の指導の重点及び授業チェックリストを作成し、各学校に配信・配付する。

また、学校訪問指導及び教職員研修等において組織的な授業改善が進められるよう働きかける。